

令和 7 年度 第 3 回釜石市文化財保護審議会 (報告・審議・議事資料)

報告 1	第 27 回郷土芸能祭の開催結果について	p1
報告 2	日本天文遺産認定について	p2
審議 1	釜石市指定文化財に係る諮問について	p3
協議 1	第 21 回有形文化財公開事業の開催日程について	p4
協議 2	釜石市指定文化財推進物件について	p5

報告 1 第27回釜石市郷土芸能祭の開催結果について

- (1) 名 称 第27回釜石市郷土芸能祭
(2) 主 催 釜石市、釜石市教育委員会
(3) 後 援 平泉町教育委員会、三陸国際芸術推進委員会
(4) 日 時 令和8年2月8日(日) 開場：9時30分 開演：10時 閉会：14時45分
(5) 場 所 釜石市民ホール TETTO ホールA
(6) 入場料 無料
(7) 出演団体

①市内8団体 尾崎町虎舞(市指定)・平田神楽・外山鹿踊・只越虎舞・田郷鹿子踊
錦町虎舞(市指定)・砂子畑鹿踊(市指定)・東前太神楽(市指定)

②市外1団体 達谷窟毘沙門神楽(平泉町指定無形民俗文化財) 平泉町

- (8) 入場者数 延べ1,000人

- (9) アンケート結果(概要)

Q1:性別と年齢を教えてください。

回答数 213名 (男性 97名、女性 114名)

10代未満…2名、10代…11名、20代…7名、30代…11名、40代…16名

50代…15名、60代…29名、70代…56名、80代以上…35名 ⇒60代以上が全体の56.3%

Q2:どちらから来ましたか? 市内 171名(80.3%)、市外 38名(17.8%)

Q3:郷土芸能祭を何で知りましたか?

ポスター…44、チラシ…36、広報かまいし…112、新聞…2、

インターネット…27、知人・友人に聞いた…51、その他11

Q4:郷土芸能祭の鑑賞は何度目ですか? 今回初めて…95、2回目以上…116

Q5:ご覧になって印象に残った演目がありますか?

尾崎青友会…5、平田神楽…11、外山鹿踊…14、只越虎舞…4、田郷鹿子踊…5、

錦町虎舞…12、砂子畑鹿踊…15、東前大神楽…19、達谷窟毘沙門神楽…23

Q6:演目をご覧になってどう感じましたか?

とても良かった…152、よかった…46 (92.9%)、普通…4、つまらなかった…6

Q7:今後どのような演目が見たいですか?

【市内】尾崎神社本宮神楽、砂子畑丹内神楽、小川鹿踊、七福神、片岸虎舞、佐須神楽
砂子畑鶏子舞、常龍山御神楽、荒川鹿踊、中村さんさ踊り

【市外】平内えんぶり、遠野しし踊り、行山流しし踊り、鶴鳥神楽、大迫神楽、北上鬼剣舞
早池峰神楽、権現舞、さんさ踊り、暮坪虎舞、吉里吉里虎舞、高千穂神楽 等

Q8:郷土芸能についてのご意見ご感想をお聞かせください。

・2年に1回ということですが、今回もたくさんの人が観ておられ、囃子に合わせて手拍子を取るなど、心が一つになっていたように感じました。

・少子高齢化で後継者不足を懸念する。募集や練習環境の支援等行政の支援が必要と考える。

・誠実で心のこもった大会運営であると感じました。また来たいです。

・これからも続けて行って欲しい。(15件)

報告 2 日本天文遺産認定について

当市の唐丹町本郷に所在する岩手県指定文化財「星座石と陸奥州気仙郡唐丹村測量之碑」が、日本天文学会から日本天文遺産に認定を受けたことについて報告する。

1 認定物件の名称

岩手県指定文化財 星座石と陸奥州気仙郡唐丹村測量之碑

2 日本天文遺産の概略

(1) 名 称 : 星座石と陸奥州気仙郡唐丹村測量之碑

(2) カテゴリー : 物品

(3) 所 在 地 : 岩手県釜石市

(4) 所有者及び : [所有者] 釜石市

管理者 [管理者] 本郷文化財愛護少年団育成会
釜石市教育委員会

(5) 認定日 : 令和 8 年 3 月 5 日

※参考 岩手県指定文化財 1985 年 12 月 27 日指定

(6) 現 状 : 保存公開中

3 星座石と陸奥州気仙郡唐丹村測量之碑の概要

【星座石】

星座石は、葛西昌丕が西洋の天文学によって「地球の微動」説を知り、その異同を確かめるために作られたものである。

不正形楕円形の石の中央に、伊能忠敬が天測した北緯 39 度 12 分の数値が記され、そのまわりには黄道十二宮と呼ばれる星座名と十二次といわれる季節ごとの太陽の位置を示す天球分割法が交互に刻まれている。

【陸奥州気仙郡唐丹村測量之碑】

享和元(1801)年、伊能忠敬が三陸沿岸測量のため、唐丹村を訪れ測量を実施した。陸奥州気仙郡唐丹村測量之碑は、その 13 年後の文化 11(1814)年、唐丹村の天文学者である葛西昌丕が、その偉業を記念するとともに、昌丕が知り得た西洋の学説「地球微動」の正否を後世の者に確かめてほしいという願いを刻み建立したものである。

この碑は伊能忠敬の生存中に、その業績に触れた唯一の碑で、19 世紀に西洋の知識が地方にまで浸透していることを証明する貴重な資料である。

審議 1 釜石市指定文化財に係る諮問について

釜石市指定文化財推進物件の内、釜石市教育委員会教育長から諮問された釜石市指定文化財候補物件を審査する。

1 諮問対象物件

松倉太神楽と松倉虎舞の 2 件

1) 諮問物件 1

- (1) 名称 松倉太神楽
- (2) 員数 1 件
- (3) 種別 民俗文化財／無形の民俗文化財
- (4) 保持者 松倉町内会
- (5) 所在地 釜石市甲子町第 10 地割（松倉）
- (6) 年代 （江戸時代に始まったと伝わる）

2) 諮問物件 2

- (1) 名称 松倉虎舞
- (2) 員数 1 件
- (3) 種別 民俗文化財／無形の民俗文化財
- (4) 保持者 松倉町内会
- (5) 所在地 釜石市甲子町第 10 地割（松倉）
- (6) 年代 （江戸時代に始まったと伝わる）

2 調査報告書

別添調査報告書参照

3 調査担当

第 2 専門部会長 藤井サエ子
文化財課

協議 1 第 21 回有形文化財公開事業の開催日程について

1 有形文化財公開事業の目的

有形文化財公開事業は、市民が郷土にある貴重な資料に触れる機会を創出することで、郷土の歴史や文化財の重要性、保護の必要性の理解を促すとともに、郷土の歴史や文化の次世代への確実な継承と郷土愛を育むために実施する。

※郷土芸能祭と隔年で実施する。

2 開催日（案） 令和 9 年 2 月 6・7 日（土・日）

3 開催場所（案） 釜石市民ホール TETTO ホール B

4 運営主体（案） 釜石市文化財保護審議会第 1 専門部会

5 開催内容 未定（次回の文化財保護審議会でご意見を頂きたい）

6 講演会（案） 令和 9 年 2 月 7 日（日） 情報交流センターPIT
※内容は有形文化財公開事業の内容による

協議2 釜石市指定文化財候補物件について

1 釜石市指定文化財候補物件の現状

市内に所在する文化財の中で、市指定を推進する物件は下表のとおりである。

○有形文化財

種 別	候 補 物 件	所 有 者	担 当 委 員
歴史資料	常龍山碑	天照御祖神社	河東委員

○無形文化財・民俗文化財

種 別	候 補 物 件	所 有 者	担 当 委 員

○史跡名勝天然記念物・埋蔵文化財

種 別	候 補 物 件	所 有 者	担 当 委 員
天然記念物	(仮) 新規発見の和山のシナノキ		第3専門部会

2 釜石市指定文化財候補物件の追加について